



新緑の作業場入口の風景

# NPO 緑の会 設立 20 周年

# NPO 緑の会

特定非営利  
活動法人  
NPO 緑の会  
取手市  
小文間  
3838-1  
TEL 0297-  
72-8791



理事長  
恒川 敏江

**【恒川理事長（挨拶）】**  
日ごとに暑さが厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。  
いつもとは様子の違う総会も無事終わりましたが、皆様からの温かいご支援ご協力の御心がひしひしと伝わって参ります。本当に有難く感謝にたえません。  
平成六年六月、EMを活用した生ごみリサイクル活動から「EM 緑の会」としてスタートした私たちの活動は、平成十二年四月、NPO 法人化した「NPO 緑の会」となり、翌十三年取手市より「生ごみ堆肥化モデル事業」を受託、240 世帯からスタートいたしました。法人化後、今年は 20 周年を迎え参加者も 2000 世帯となりました。平成十六年には総務省より生ごみ堆肥化事業に対して、

半年前、誰がこんな世界を予想できたでしょう。半年後はもちろん明日の事さえも想像することは難しい私には、一日一日楽しく、EM 技術に皆様に心から感謝しながら、出来ることから進めて参りたいと思っております。

「全ての物事は必要・必然・ベストなタイミングで現れるそうですよ。」と以前お話を聞いたことがあります。どんな状況になってもベストな状況であるのかなと思っております。このコロナは私たちに何を伝えているのでしょうか。

新型コロナウイルスに関する多くの情報が日々流れ、そして行政からの事業を受託いたしておりますので、指示されたことはもちろん、さらに EM を学ぶ者として当然ですが、敷地全体への活性液の散布、室内では EM X ゴールド（微量）入り活性液の加湿器での利用など、気が付いた所へは色々と利用しています。気持ちがとても安心です。

定 NPO 法人地球環境共生ネットワーク様からご依頼の「日本橋川浄化活動」、「外濠浄化活動」ではそれぞれ素晴らしい成果をあげております。  
「地域づくり総務大臣表彰」を頂き、会員一同大喜びをいたしました。  
水質浄化事業では認



「地域づくり総務大臣表彰」を頂き、会員一同大喜びをいたしました。

## 活動拠点【堆肥場】の紹介と 20 年以上の実績を持つ生ごみ堆肥化の作業



作業の中心シルバーさん



**第 20 回 通常総会報告及び理事・監事の紹介**

今年「NPO 緑の会」設立 20 周年記念の総会でしたが、新型コロナウイルスの影響で正会員による書面議決での通常総会となりました。議案に関しては全て(5 議案)賛成多数で可決されました。

また今回は理事の改選が行われ 6 名の理事の再任と監事 1 名の交代が決まりましたのでご紹介します。



退任監事コメント

海野 芳男さん

私は緑の会に入会し、EM 関係のイベントや講演会・研修会等に積極的に参加させて頂き、多くの新しい事を楽しく学ぶことが出来ました。特に EM の働きが社会に大きな貢献をしている事は印象的でした。退任に当たり、心よりお礼申し上げます。



理事 唐沢 光江



理事 恒川 芳克



理事 若林 正子



監事 鈴木せつ子



理事 鈴木 勝也



理事 石川 泰子

【理事・監事】  
令和 2 年度は、新型コロナウイルスの動向を見ながら、それぞれの分野でこれまでの実績を踏まえ、会員の拡大及び活動の充実に努め、生ごみ堆肥化事業、水質浄化事業等の研究・検討を深め、さらに最新の EM 情報を収集し理解を深めることを方針とします。

**障害者福祉センターつつじ園での生ごみ堆肥化事業の一環としてボカシ製造を担当**

生ごみ堆肥化事業は、平成 13 年、「取手市生ごみ堆肥化モデル事業」としてスタートしました。比嘉昭夫先生の「ボカシの製造は施設の活動にしてほしい」との趣旨をふまえ、つつじ園にお願ひし、今では素晴らしいボカシが生産されています。



**外濠 50m×200m (飯田橋、イタリアンレストラン カナルカフェ) の浄化活動**

認定 NPO 法人「地球環境共生ネットワーク」様からのご依頼により平成 19 年から他の EM 団体、障害者福祉施設などとの協働により年 2 回それぞれ各回 1 万個の団子投入。平成 21 年からホテルが飛び始め、平成 31 年、整流ブロックの 10kg タイプ 6 個を設置。設置前大腸菌群数 3300、2 か月後 49(単位 MPN/100ml)となり、あまりの効果に大変驚きました。



2 月 24 日 (月)「NPO 法人りょうぜん里山がっこう」の皆さまを迎えて

福島県伊達市霊山町から、遠路 4 時間をかけて 6 名の方がお見えになりました。EM 研究機構所属の奥本秀一氏の指導の下、今年から EM を使って本格的に有機野菜の栽培と産直活動を行うとの事。緑の会からも逆訪問し今後も交流を深めていく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で今年は断念。次回に持ち越しとなりました。

1、午前中はお互いの活動内容の紹介と、質疑応答を通しての勉強会を行いました。



2、午後は高野金助代表理事のご挨拶後、整流ブロック製作を見学・体験していただきました。



3、懇談会ではお互いに経験談の発表。最後は高野すみ子校長の音頭で里山がっこうの校歌を熱唱。



令和 2 年 1 月～6 月までの主な活動 (新型コロナウイルスの影響で作業は 3 月で中断)

1 月 23 日 (木) 日本橋川浄化活動

日本橋川側に設置している活性液放流のためのプラントで使用中の、百倍利器 3 台が壊れたため現地調査を行った。比嘉 新社長の立会いの下、3 台の利器は 1/30(木)に撤去、これからの対応は 5 トンタンクで培養することにする。残っていた活性液は全て日本橋川に流し、5 トンタンクを洗浄後、活性液を仕込み 50 キロの塩をタンクに投入しました。



**2 月 10 日 (月)・17 日 (月) 及び 3 月 9 日 (月) 堆肥の袋詰め作業 (生ごみ提供者に配布用)**

2 月 10 日は令和 2 年最初の作業日でしたが、たくさんの会員の皆さまが参加され、和気あいあいと堆肥の袋詰めを行いました。3 日間の作業で約 1,200 袋を製作。



**3 月 12 日 (木) ~14 日 (土) 生ごみ提供者へ年一回の堆肥を無料配布しました**

今年も登録者の住所氏名を確認し、一家庭に一袋の堆肥をお渡ししました。配布開始後、続々と来訪者が訪れ、「年一回の楽しみです」「この日を楽しみにしていました。この堆肥を使うと土がフカフカになるんですよ」「すごくいい花が咲きます」等、喜びのコメントを残されていました。



**会員の皆さまが行っている EM を使ったコロナウィルス対策の一例 (参考にしてください)**



作業場敷地全体に活性液の散布。WHO では一般の消毒剤の路上散布はコロナ除去に効果がないどころか健康上のリスクありと警告。EM 散布は口蹄疫防止の実績もあり、健康にも環境にも優しい。



三密を避け、外出時にはマスクをかける等の対策を行うことは当然ですが、EM を活用し、より一層の対策を行います。①シャボン玉 EM 石けんによる実験では合成洗剤の百から千倍のウィルス破壊力があり、手も荒れにくい。②EM-X ゴールドを、朝・昼晩に目鼻口にシュッ。③室内には EM W の 50 倍から 100 倍溶液を噴霧する。④垂塩素酸水の噴霧は体に良くないが EM なら体にも良い。マスクにも噴霧。



①シャボン玉 EM 石けんによる実験では合成洗剤の百から千倍のウィルス破壊力があり、手も荒れにくい。②EM-X ゴールドを、朝・昼晩に目鼻口にシュッ。③室内には EM W の 50 倍から 100 倍溶液を噴霧する。④垂塩素酸水の噴霧は体に良くないが EM なら体にも良い。マスクにも噴霧。

**編集後記**  
新型コロナウイルスの影響で今年の作業は、生ごみの堆肥化事業以外は中止となりました。残念ですがこの難関突破の為、比嘉照夫先生のアドバイスを参考に EM をあらゆる場面で空気や水の如く徹底して使用し、その力をもつと世の中を期待しています。岸本義幸

**NPO 緑の会の会員になるには**  
正会員：会費 3,000 円/年 活動もできる方 (総会での議決権有)  
賛助会員：会費一口 3,000 円以上 会費で協力 (総会での議決権はなし)  
お問い合わせ先：TEL：090-9015-7426 (恒川理事長)  
Eメール：npo-mido@trust.ocn.ne.jp